

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名		春野地区ごみ収集費		部課コード	1816	予算事業科目	010403010632	事	単	区分	継続
所 管 部 署	担当部局	環境部	部局長名（2次評価者）	水口俊智		個別 事務	全部	010403010632	-		
	担当部署	春野環境センター	所属長名（1次評価者）	橘威							
	電話番号	894-2314	E-mail	kc-181600@city.kochi.lg.jp							

1 事業の位置付け

予算科目（平成20年度）		高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策 基本 方針	市民・事業者・行政が一体となって、協働・参加による環境保全活動に取り組み、地球環境に貢献する循環型社会システムの確立をめざします。						
款	04 衛生費	政策	02 地球環境に貢献する循環型社会の構築								
項	03 清掃費	施策	04 廃棄物の適正処理								
目	01 塵芥処理費	区分	08 春野環境センター								

2 事業の根拠

法律・政令・省令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	
その他（計画、覚書等）		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市春野地区住民		
意図	どのような状態にしていけるのか	合併後の春野地区におけるごみの適正な処理とごみ有料袋の制度を維持する。		
手段	事業実施体制等	○家庭ごみの収集運搬の実施。○指定袋による適正排出の啓発。	事業開始年度	平成19年度
			事業終了年度	平成24年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	○家庭ごみの収集運搬業務を委託する。○指定袋を作成する。○指定袋の保管倉庫の賃借契約を締結する。○指定袋運搬及び受渡事務を委託する。○一般廃棄物処理手数料の徴収事務を委託する。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A			
	B			
	C			

4 事業の実績等

		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標					
		実績					
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)		10,815	43,933		※ 平成21年度当初予算額 ※ 平成19年度実績は平成20年1月1日春野町と合併後
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)		5,299	18,942	
			一般財源 (千円)	0	5,516	24,991	
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	3,750	15,000		
		正規職員 (千円)		3,750	15,000		
			その他 (千円)				
		人役数 (人)		0.50	2.00		
			正規職員 (人)		0.50	2.00	
			その他 (人)				
総コスト = ① + ② (千円)		0	14,565	58,933			
市民1人当たりコスト (円)		0	43	173	総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

○家庭ごみの収集運搬業務は、春野町時代から経験のある業者であり、住民からの苦情は無く収集状況も良好である。○有料指定袋によるごみの排出は、一部の住民に旧高知市（無料）との不公平感はあるが、合併協議内容の説明をすることで概ね理解をいただいている。○一部のステーションにおいて不適正排出物があるが、そのつど収集運搬業者と連携し指導をおこなっている。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 4 日）

評価項目		評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	本事業は平成20年1月に春野町と高知市の合併に於いて、ごみ処理については一市二制度で行うこととなり、平成24年度末に高知中央西部焼却処理事務組合を脱退するまで実施されるものであり、春野地域には必要な事業である。	
		B (3) 一部結びつく				
		C (1) あまり結びつかない				
		D (0) 結びつかない				
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A				
	B (3) 横ばいである					
	C (1) 少ない、減少している					
	D (0) ほとんどない					
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	合併に伴い、ごみの出し方、資源・不燃物の分別収集が変わり、地域の住民に説明会やステーション指導等で周知を図っている。また、地元の自治会などの協力を得て、ステーションへの不適正排出物も減少し、成果の目標は概ね達成出来ていると思う。	
		B (3) 概ね達成している				
		C (1) あまり順調ではない				
		D (0) 十分な成果を望めない				
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B			
		B (3) 概ね妥当である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	4.0	ごみの収集運搬については、すでに外部委託を実施している。コスト削減についてはすべての委託見直しや、ごみの減量の啓発を行い、組合への分担金の削減を図ります。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
		C (1) 検討の余地はある				
		D (0) 十分可能である				
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減の可能性] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B			
		B (3) 概ね効率的にできている				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	4.0	事業実施に対する委託等については、見積競争等を積極的に取り入れて行っています。また、受益者負担については、春野地域ではほぼ全域に指定袋によるごみ有料化が浸透しています。また、ごみの量によって指定袋が大、中、小と分かれており、指定袋の料金は組合を構成している他の市町村と同額であり、公平かつ適正であると思います。	
		B (3) 概ね保たれている				
		C (1) 偏っている				
		D (0) 公平性を欠いている				
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A			
		B (3) 概ね適正な負担割合である				
		C (1) 検討の余地がある				
		D (0) 検討すべきである				
総合点	16.0	総合評価	○ A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）			
			B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）			
			C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）			
			D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 25 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価の通りであるが、高知市での家庭ごみの有料化実施との調整や、ごみ収集について合併協議での委託事業のあり方について整理する必要がある。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--